

(様式第4号)

上田市真田中央公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	上田市真田中央公民館運営審議会
2 日時	平成26年4月16日 午後6時30分から午後8時00分まで
3 会場	真田中央公民館 小会議室
4 出席者	芳沢孝夫会長、岩下直美副会長、竹内秀行委員、小林晴美委員、武捨敦夫委員
5 市側出席者	柳沢公民館長、春原公民館次長、中村統括主査、小林社会教育指導員
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成26年4月17日

協 議 事 項 等

1 開 会 (春原次長)
2 あいさつ (柳沢公民館長) (芳沢会長)
3 協議事項
(1) 平成25年度事業報告について
・資料に沿い、春原次長から概要を説明
・以降、協議
(委員) 学校支援ボランティアのみなさんは、気軽に学校に来ていただいている。授業の見守りボランティアの呼びかけも、学校だより、入学式や卒業式を通じて行っている。
(事務局) やっていただける方がいたら、公民館へ連絡をほしい。
(委員) 真田地域の小学校は、金管活動を大事にしているが、楽器の更新など補助がなく更新が難しい。また、指導者の謝金が打ち切られた。また、真田スポーツクラブの文部科学省補助金も打ち切られ、大変困っている。
(事務局) そのような現状のなか、地域で学校に入っていた方がいい。
(委員) 真田地域体育祭は、開催することについての意見はないか。
(事務局) 昨年度の厚生部長会議では、特段意見はなかった。しかし、24年度の厚生部長会議のなかでは、選手集めの苦労などの意見が出された。
(委員) 体育祭は、最下位になるとつらい。全体の順位をつけなくてもいい。年齢別の種目は難しい。役員のための体育祭になっている。
(事務局) 順位の発表は、上位のみ行っているが、掲示しているのでそれを見れば順位は分かる。年齢別の種目は、現在枠を払って行っている。現在、36文館中28分館の参加がある現状で、公民館としては継続で考えている。
(2) 平成26年度事業計画について
・資料に沿い、春原次長から全体について、公民館学級・講座について中村統括主査から、青少年関係・人権同和教育関係について小林社会教育指導員から概要を説明
・以降、協議
(委員) 公民館講座で、歴史と人と自然に着目することはとても大事だと思う。子供たちは、家の前の沢や山の名前は、知らない。親も知らないのでは？しかし、おじいちゃん、おばあちゃんは、会話の中で入ってくる。
(委員) 365の字名があるといわれ、その字名には必ず言葉があり、そこに着目することもよいのでは。
(委員) 少年補導員活動として、下校時の声掛け運動は良いことだと思う。声をかけることが、不審者と思われる時代だが、補導員ができる時間で、できる範囲で実施してもらえればよい。
(委員) 人権同和教育の差別事象が絶えない。
(委員) 真田地域のように、学校の先生が地域に出ていくことは、とても大事なこと。職員が勉強になる

(会 長) 平成 26 年度事業計画については、多くの事業があり大変であるが、方針に基づき進めていただきたい。

(3) その他

春原次長から、平成 25 年度に実施した大ホール床修繕について及び平成 26 年度に実施する公民館関係の工事、修繕について説明

4 閉 会